

介護職員初任者研修 シラバス

事業者名：ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	(1) 職務の理解 (6時間)			
指導目標	介護の基本事項や福祉全般の概要について、受講者が介護職の仕事をイメージしやすいように、これからの介護や目指すべきケアなどを含めて基本的な事項を伝える。以降の研修との関連性を持たせて講義することで、学習の素地形成を促す。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	2	2	0	【講義内容】 ・介護とは ・介護サービスの仕事とは ・介護保健サービスの種類 ・介護保険外サービスの種類
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	【講義内容】 ・研修課程の全体像 ・介護の資格とキャリアシステム ・居宅・施設の多様な働く現場における各仕事内容 ・居宅・施設の実際のサービス提供現場のイメージ 【演習内容】 介護職の仕事や現場が理解できるように施設見学し、介護現場についてグループディスカッションをおこなう。
合計	6	6	0	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト1「介護・福祉サービスの理解」			

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚できるよう、介護職員が持つべき行動・態度が具体的に理解できるよう講義する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	7	0	7	【通信学習課題の内容】 ・人権の尊厳の保持 ・高齢者のための国連五原則 ・QOL (Quality of Life) ・ノーマライゼーション ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・高齢者に対する虐待の種類と特徴 ・個人の権利を守る制度
②自立に向けた介護	2	0	2	【通信学習課題の内容】 ・自立支援 ・自己決定・自己選択 ・介護予防
合計	9	0	9	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト1「介護・福祉サービスの理解」			

科目番号・科目名	(3) 介護の基本 (6時間)			
指導目標	利用者に関わる様々な職種との連携と理解、介護職の役割と求められる専門性や職業倫理について講義する。また、職務におけるリスクとその対応策についても考える。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	0	2	【通信学習課題の内容】 ・介護職の役割と専門性 ・自己実現の支援 ・介護実践の原則 ・社会福祉士及び介護福祉士法 ・チームケアにおける各種専門職
②介護職の職業倫理	1	0	1	【通信学習課題の内容】 ・日本介護福祉士会倫理綱領 ・プライバシーに関する留意点 ・介護福祉士の職業倫理
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	0	2	【通信学習課題の内容】 ・高齢者の特性 ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染症対策、感染症予防
④介護職の安全	1	0	1	【通信学習課題の内容】 ・介護職員の安全衛生 ・介護職員のこころの健康管理、ストレスナー ・腰痛予防のための健康管理
合計	6	0	6	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト1「介護・福祉サービスの理解」			

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)			
指導目標	福祉の制度の全体像・目的等についての概要と介護職の役割が理解できるように講義する。また、介護職が行うことができる医行為・医療職が行う医行為の違いを学び、医療的ケアの理解について講義する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	4.5	0	4.5	【通信学習課題の内容】 ・介護保険制度創設の背景 ・介護保険制度を取り巻く状況や制度の動向 ・要支援・要介護認定 ・介護財源 ・介護保険給付 ・介護サービス事業者の指定・更新 ・介護保険給付以外の事業 【講義内容】 ・介護保険制度創設の背景と目的、動向 ・予防重視型システムへの転換、地域包括支援センターの設置、地域包括ケアシステムについて ・介護保険制度の基本的仕組み ・制度を支える財源、組織と役割について ・介護給付・予防給付 ・要介護認定の手順 ・ケアマネジメント
②医療との連携とリハビリテーション	1.5	0	1.5	【通信学習課題の内容】 ・介護職と医行為 ・リハビリテーション 【講義内容】 ・介護における医療と福祉の連携 ・介護職と医行為 ・訪問看護 ・リハビリテーションの意義と役割
③障害者総合支援制度及びその他制度	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・障害者福祉の理念 ・障害者の定義 ・障害福祉サービスの種類と内容 ・生活保護の基本原則と基本原則 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 ・虐待防止法 ・年金制度 【講義内容】 ・障害者福祉制度の理念 ・障害の概念 ・障害者総合支援制度の基本的仕組み ・介護給付・訓練等給付の種類、申請から支給決定までの概要 ・個人の権利を守る制度の概要
合計	9	0	9	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト1「介護・福祉サービスの理解」			

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)			
指導目標	コミュニケーションの意義・目的・役割について理解し、介護の場面において効果的に実践できるよう講義する。介護職員として最低限のとるべき行動、注意点について指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・介護におけるコミュニケーションの基本 ・非言語的コミュニケーション ・質問の技法（閉じられた質問と開かれた質問） ・利用者・家族とのコミュニケーション ・利用者の状況・状態（聴覚・認知症等）に応じたコミュニケーション
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・記録の意義と目的 ・介護に関する記録の種類 ・事故報告書 ・記録の書き方と留意点 ・報告・連絡・相談 ・サービス担当者会議 ・ケアカンファレンスの意義
合計	6	0	6	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト2 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」			

科目番号・科目名	(6) 老化の理解(6時間)			
指導目標	加齢に伴う老化のしくみ・特徴について基本的な留意点を理解する。高齢者に多い疾病や障害について基本的な事項を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①老化に伴うところからだの変化と日常	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・寿命と老化の特徴 ・知的能力の老化と特徴 ・老化によるところからだの変化と観察ポイント ・高齢者が転倒しやすくなる原因
②高齢者と健康	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・高齢者と健康 ・高齢者の意識障害 ・老化に伴う疾患 ・廃用症候群が引き起こす症状 ・高血圧症、老人性高血圧の特徴 ・脳血管疾患
合計	6	0	6	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト2 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」			

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解 (6時間)			
指導目標	認知症の医学的な仕組みや取り巻く状況を理解し、健康上の管理について講義する。また、認知症の人への対応、実際の関わり方、家族への支援について理解する。それぞれの症状や障害によって対処方法やケア方法が異なることを理解できるように指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	0.5	0	0.5	【通信学習課題の内容】 ・認知症の中核症状 ・認知症の人との関わり
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2.5	0	2.5	【通信学習課題の内容】 ・認知症に似た症状 ・認知症とは ・改訂長谷川式簡易知能評価スケール ・アルツハイマー型認知症と脳血管性認知症の比較 ・前頭側頭葉変性症（ピック病） ・認知症の人の健康管理
③認知症に伴うところからだの変化と日常生活	2.5	0	2.5	【通信学習課題の内容】 ・周辺症状 ・認知症ケアの基本、介護職員の姿勢 ・認知症の人とのコミュニケーション ・認知症の人のケアマネジメントセンター方式
④家族への支援	0.5	0	0.5	【通信学習課題の内容】 ・家族への支援 ・家族介護者へのエンパワメント ・家族介護者のレスパイトサービス（レスパイトケア） ・認知症の受容過程
合計	6	0	6	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト2 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」			

科目番号・科目名		(8) 障害の理解 (3時間)			
指導目標		障害の概念とICFの分類、医学的な側面、支援に関する制度や仕組みの基本について講義する。また障害者福祉の理念、介護の留意点、家族との関わり方について理解する。			
項目番号・項目名		時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解		1	0	1	【通信学習課題の内容】 ・ICFとは ・身体障害者の定義 ・障害者基本法
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の 特徴、 かかわり支援等の基礎的知識		1.5	0	1.5	【通信学習課題の内容】 ・視覚障害 ・聴覚・平衡機能障害 ・音声・言語・咀嚼機能障害 ・脳性まひの定義とまひのタイプと症状 ・内部障害 ・精神障害 ・発達障害
③家族の心理、かかわり支援の理解		0.5	0	0.5	【通信学習課題の内容】 ・障害受容 ・家族の心理 ・家族への支援
合 計		3	0	3	
使用する教材		日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト2 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」			

科目番号・科目名		(9) ころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)			
指導目標		介護に関する理論・専門的な技術について演習を交えて学習する。 効果的な介護サービスを提供することを念頭に置き、実際の介護の技術や介護過程の展開について演習を行う。			
項目番号・項目名		時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
ア 基本知識の学習 (10時間)	①介護の基本的な考え方	2	0	2	【通信学習課題の内容】 ・求められる介護福祉士像 ・介護の基本的な考え方 ・医療・介護サービスの「アプローチ」の違い
	②介護に関するころのしくみの基礎的理解	5	0	5	【通信学習課題の内容】 ・感情の基礎知識 ・マズローの欲求階層説 ・老年期の人間関係の特徴 ・老化過程への適応 ・障害への心理的反応 ・障害の受容
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	0	5	【通信学習課題の内容】 ・人体の構造と機能 ・バイタルサイン ・骨・関節・筋の基礎知識 ・中枢神経系と末梢神経系 ・自律神経の機能 ・老化と加齢

イ 生活支援技術の講義・演習（55時間）	④生活と家事	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・家事と生活支援の理解 ・生活能力を高める介護 ・家事援助と生活支援 ・栄養の理解 ・食品の保存・管理 ・衣服の役割 ・洗濯、清掃方法
	⑤快適な居住環境整備と介護	3	0	3	【通信学習課題の内容】 ・快適な居室環境づくり ・居室環境の整備 ・住居の安全と事故防止に向けた環境整備 ・入浴に関わる福祉用具 ・認知症高齢者の行動特性と安全に配慮した環境 ・介護者の健康を守る福祉用具（機器） ・福祉用具と住宅改修
	⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	【通信学習課題の内容】 ・衣服の役割と選ぶときの配慮事項 ・衣服着脱時における支援 ・整容の支援技術 ・口腔ケア 【演習内容】※講師1名体制で指導 ・肢体不自由者の衣服（上衣）の着脱介護（座位・臥位での更衣）
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	14	7	7	【通信学習課題の内容】 ・まひの障害部位 ・ボディメカニクス ・体位の種類 ・移乗・移動時の補助具 ・車いすの基本構造、車いす介助 ・歩行介助 ・移動と社会参加の支援 【演習内容】※講師1名体制で指導 ・ベッドメイキング ・ベッド上での体位変換（仰臥位～側臥位、仰臥位～端座位、上方移動、水平移動） ・立位・座位介助 ・車いす・ベッドへの移乗介助 ・車椅子の点検・操作方法、車いす移動の介助 ・肢体不自由者の歩行介助（T字杖） ・視覚障害者の歩行介助 ・スライディングシートの使用方法
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	3.5	3.5	【通信学習課題の内容】 ・食事に関する基礎知識 ・栄養の理解 ・食品の調理、食中毒 ・食事介助の技法 ・疾患と食事 【演習内容】※講師1名体制で指導 ・トロミの付け方 ・肢体不自由者に対する座位での食事介助 ・視覚障害者の食事介助 ・口腔ケア
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	3.5	3.5	【通信学習課題の内容】 ・入浴の意義とからだに及ぼす影響 ・入浴・整容に関する用具 ・入浴介助の実際 ・ベッド上での足浴の介助 ・清拭 ・からだの機能低下が入浴・清潔に及ぼす影響 【演習内容】※講師1名体制で指導 ・肢体不自由者の体・頭を洗う方法（座位） ・肢体不自由者への足浴（座位） ・清拭 ・浴槽跨ぎ

	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	3.5	3.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の基礎知識 ・排泄の福祉用具 ・排尿障害 ・排便障害と便秘の予防 ・排泄介護の実際 <p>【演習内容】※講師1名体制で指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由者のベッド～ポータブルトイレの介助 ・ベッド上での紙おむつの交換
	⑪睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	1	2	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境 ・褥瘡予防 ・就寝時の安楽な姿勢への介助 <p>【通学内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・安眠のための環境整備 ・褥瘡予防
	⑫死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	3	0	3	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死へのプロセスと介護 ・在宅ターミナルケア ・キューブラー・ロス「死にゆく人のこころの過程」 ・看取りにおける介護職員の基本的態度 ・看取りにおける家族支援 ・看取りにおける倫理観
ウ (生活 10時 支援 技術 演習)	⑬介護過程の基礎的理解	3	0	3	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程とは ・介護過程の展開
	⑭総合生活支援技術演習	7	3.5	3.5	<p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例(片麻痺、認知症等)の理解 <p>【演習内容】※講師1名体制で指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例をもとに支援の検討、技術演習(実施)までの過程をおこなう。 ・グループで改善点・課題を討議する。 ・講師による講評を行い、理解を深める。
合 計		75	25	50	
使用する教材		日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト3 「ところとからだのしくみと生活支援技術」			

科目番号・科目名	(10) 振り返り (5時間)			
指導目標	研修の全課程を振り返り、習得した知識・技術について再確認する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	講義の内容及び演習の実施方法
①振り返り	3	0	3	【通信学習の内容】 ・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点
②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	1	1	0	【講義内容】 ・今後のキャリアパスと資格取得要件について ・研修終了後における継続的な研修について ・事業所等におけるOJT・OFF-JTとは、具体例にイメージできるような実例の紹介、学習方法
修了試験	1.5	1.5	0	
合計	5.5	5.5	0	
使用する教材	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト3 「こころとからだのしくみと生活支援技術」			